



武石の 企業訪問

武石で働く
事業所の紹介



株式会社 樋沢産業

代表取締役 会長 樋沢 一幸さん



下 武石の中の橋のたもとに、株式会社樋沢産業の事務所と製材工場があります。

会社事業の柱は建築請負業務と木材加工・販売の二つで、売上比率は建築請負業務が約75%、木材加工・販売が約25%とのことです。

請負業務の内容は、木材を原料とした加工や組み立て、取付けなどを行う木工事全般で、お客さんは大手建設会社（北野建設、守谷商会、北澤土建、他）が主とのことです。身近な施工例では、武石小学校の大改修や依田窪南部中学校の体育館の木工事を担当、長和町庁舎や上田市新庁舎、サントミュージー、武石地域総合センターでも木工事の一部を施工しています。公共施設やホテル・旅館、学校関係など、大規模な木工事の仕事が多いそうです。また、木材加工・販売の取引先は近隣の工務店が主とのことです。



軽井沢中学校の施工例

現在の従業員数は10名で、工事現場で大工さんの管理や行程進捗管理などを行う現場代理人2名、営業1名、木材加工・配達作業員5名、事務2名です。この他に、工事現場では約20人の大工さんを雇って請負業務を行っています。

1969年（昭和44）に先々代社長が有限会社樋沢産業を設立、1979年（昭和54）に先代社長に、1992年（平成4）には現会長に代表者が代わり、1997年（平成9）には社名を株式会社樋沢産業に変更しました。

設立当初は、山から切り出した丸太を製材して板を作り、その板を使って電線を巻くドラムを主に製作していましたが、昭和50年代には他社との競合

やコストダウン要求などから、電線ドラム事業の業績が悪化しました。そこで、より付加価値の高い建築用木材の加工・販売へと事業の転換を図りました。

やがて家の新築ブームや別荘地の分譲などで住宅建築の需要が高まり、建築用木材はととてもよく売れて、全盛期には80～90軒のお得意さんに木材を納入していたそうです。

ただ、「こんな良い状況は続くはずない」と常に不安を抱えていた現会長は、1993年（平成5）から木工事の請負業務を始めました。会社として全くゼロからの事業でしたが、大工さんや色々な人たちに教えてもらいながら、木工事に必要な設計技術や施工技術を習得して技を磨き、様々な現場で実績と経験を積み重ねて、請負業務を会社の主事業へと転換を図りました。



製材工場

「木は生き物なので、工業製品のように扱えません。丸いもの（丸太）から四角いものに製材することは難しいが、その反面奥深さもあります。また、木はどうやっても曲がるが、それをどうやってうまく使うか考えて使うのが我々の仕事です。木の取り方や特性は我々がよく知っています。木材のプロフェッショナル企業として高い技術と知識を持つのが樋沢産業です」と樋沢会長は話していました。

会社で最も大切にしていることは、「木も人も共に歩み育てていくこと」で、「一人ひとりのスキルを高め、社員のそれぞれの個性を生かせる環境を作りたい。若手社員の育成にも注力していきたい」としています。「当社の業務に興味関心がある方はホームページをご覧ください、ぜひ一度ご連絡ください」とのことです。

株式会社 樋沢産業

住所：上田市下武石577-1

電話：0268-85-2038



（会社ホームページ）